



技術史教育

第114号

2018.4.30

Education for History of Technology

第114号目次

- 日本技術史教育学会2018年度総会・研究発表講演会の開催にあたって……武長玄次郎(1)
 日本技術史教育学会2018年度総会・研究発表講演会開催案内……長嶋利夫(2)
 「関西支部2017年度(通算第15回)総会・研究発表講演会」開催報告……渡部紘一(3)
 お知らせ・理事会議事録・編集後記 ……(4)

【総会案内】

日本技術史教育学会2018年度 総会・研究発表講演会の開催にあたって

2018年度総会・研究発表講演会実行委員会
武長 玄次郎(木更津高専)

2018年度総会・講演会が東京・四ツ谷の上智大学で行われます。2015年の総会・研究発表講演会を行って以来、3年ぶりということになります。

上智大学の設立はフランシスコ・ザビエルに遡ります。イグナチウス・ロヨラの依頼でカリックの教えを広めるべくアジアに赴き、日本人信者を知ったことから1549年来日したイエズス会士のザビエルは、日本人の資質を高く評価し、大学をこの地に設立すべきと書簡を送ります(市谷キャンパスにザビエルの銅像があります)。この意志を引き継いで東京に上智大学が設立されたのは、1913年、イエズス会によるものでした。初代ヘルマン・ホフマン氏以来、曄道佳明現学長まで16代の学長が就任し、苦難の経験もありましたがそれを乗り越え、105年の歴史の中で文系・理系を問わず多種多彩な人材を輩出してきました。本学会の会長を務められた故中山秀太郎先生、会長及び顧問の林邦夫先生をはじめ、技術史を論じる際に欠かすことの出来ない人物が理工学部で活躍されています。2013年には100周年を迎え、新学部も加わりました。新棟の建設、理工学部を中心とした全面改修も行われ、2017年には新しいキャンパスに生まれ変わりました。2017年4月から供用が開始された地下1階地上17階の6号館(ソフィアタワー)は、大学での研究・教育の拠点としてのみならず、四谷の町のランドマークとしての役割を果たすことが期待されています。その中で、創立以来の姿を残す1号館は、正門を入る人々に100年の歴史の重みを感じさせてくれます(写真)。上智大学はグローバル社会における大学の取り組みを積極的に進めており、ここでも高い評価をうけています。2018年2月28日に公表された文部科学省スーパーグローバル大学創成記念事業の中間評価において、上智が取り組んできた「多層的ハブ機能を有するグローバルキャンパスの創成と支援がハナ

ンスの確立」が、5段階評価のうち、最も高い評価「S」評価を得ました。「優れた取り組み状況であり、事業目的の達成が見込まれる」S評価を得たのは、採択37大学僅か6校です。

現在、技術史や科学史は極めて厳しい環境にあると言わざるを得ません。財政事情を理由にした大学等高等教育機関の予算削減の暴風は、国公私立を問わず押し寄せています。各大学・学校で対応策として講座や研究室が減らされる際に、この両分野がしわ寄せを受けることが多いと言わざるを得ません。歴史分野もそうですが、技術や科学への関心そのものが国民の間で、かつてほどはないことが、こうした事態の背景にあるように思えます。未知なる問題を解決し、全く新たな物を作り出す喜びが、もはや日本人の心を躍らせることではなくなっているとしたら大変悲しいことです。

この中で我々が出来ることとして、まずは技術・科学に関する先人たちの努力の成果を知り、自らの成果と共に後世に伝えることと思います。この総会・研究発表講演会が、そのために少しでも役に立つことを願ってやみません。



日本技術史教育学会2018年度総会・研究発表講演会開催案内

2018年度総会・研究発表講演会実行委員会 実行委員長 長嶋 利夫 (上智大学)

日時:2018年6月23日(土),9:00~16:40
主催:日本技術史教育学会
共催:日本メカニズムアーツ研究会
場所:上智大学中央図書館9階 L-821会議室
(東京都千代田区紀尾井町7-1:地図参照)

【プログラム】

9:10 実行委員長挨拶

《技術史・技術文化史Ⅰ》

- 9:20~9:43 八田與一の技術協会における活動
武長玄次郎(木更津高専)
- 9:43~10:06 古代メソポタミア文明遺跡の現地調査
研究-第2報 メソポタミア最古の都市・サポテカ文明
渡部紘一(元松江高専)
- 10:06~10:29 鉱山絵図の検証Ⅰ-佐渡金山
大切山坑および百枚間歩-
○久間英樹(松江高専)・福岡久雄(東京電機大学)

休憩 10:29~10:35

《技術論・工学教育・技術教育》

- 10:35~10:58 文系大学生の技術(史)教育20年
吉田喜一(都立産技高専)
- 10:58~11:21 工業高校の実習教育と工業科教
員養成の課題
○長谷川雅康(東京学芸大学)・石田正治(名古屋
芸術大学)・荻野和俊(大阪工業大学)
- 11:21~11:44 機械製図の文化の変革に関する
研究:第16報 製図の文化・製図論について(その
3)
○平野重雄(東京都市大学、(株)アルトナー)・喜瀬晋
(株)アルトナー)・関口相三((株)アルトナー)・奥坂一也
(株)アルトナー)

昼食 11:44~12:50

《特別講演》

12:50~14:00

演題:ヨーロッパの図書館事情-中世~バロック期のヨー
ロッパの図書館の歴史概説と18世紀ウィーン刊の建築
書『歴史的建築の構想』の研究資料検索の体験につ
いて-

講師:中村恵三(足利工業大学名誉教授)

休憩 14:00~14:10

《科学論・学問論・技術論》

- 7:14:10~14:33 鉄道技術遺産の再生と活用の試み
真保光男(JR東日本ビルテック)
- 8:14:33~14:56 学問と研究における「主体」と「意
識」-日本語と日本文学そして科学技術-
田中道彦(信州大学)

休憩 14:56~15:05

《技術史・技術文化史Ⅱ》

- 9:15:05~15:28 京漢鉄道と芥川龍之介
山館順(サレジオ高専)
- 10:15:28~15:51 中国の石造アーチ橋の現地調査研
究-趙州橋、永通橋(石家庄)、盧溝橋-
○南正晴(元三菱重工)、下間頼一(元関西大学)
- 11:15:51~16:14 ポンジシエール-南インドに根付いたフ
ランス文化- ○塩津宣子(技術文化史研究会)・下
間頼一(元関西大学)
- 12:16:14~16:37 カシガール-技術文化の十字路口-
○下間頼一(元関西大学)・塩津宣子(技術文化史
研究会)

《総会》16:50~17:40

《懇親会》18:00~20:00

【参加費】

・研究発表講演会参加登録費:3000円
・懇親会参加費:5000円
昼食は、会場近くに飲食施設がございますのでそちら
をご利用下さい。

【総会・研究発表講演会参加申込み】

6月15日(金)17時必着で、同封の参加申込用紙に記入
し、下記まで郵送またはFAXでお申し込みください。参
加用紙をメールでご希望の場合、メールでのお申
込みも可能です。参加者名簿作成や予約などのため、
期日の厳守に御協力ください。

【申込先】

〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル
6F(株)プラスワン気付 日本技術史教育学会2018年度
総会・研究発表講演会実行委員会 FAX:03-3835-
2494

【実行委員】

長嶋利夫(上智大学)、武藤康夫(元上智大学)、岡
崎昭仁(神奈川工科大学)、堤一郎(茨城大学)、鈴
木夏夫(玉川大学)、武長玄次郎(木更津高専)

「 関西支部2017年度(通算第15回)

「 総会・研究発表講演会(通算第11回) 」・見学会 開催報告

2017年度関西支部長 渡部 紘一(元松江高専)

《見学会》3月3日(土)、参加者9名がJR京都線の山崎駅前で13:00に集合して始まりました。離宮八幡宮はJR山崎駅のすぐ隣にあり、嵯峨天皇の離宮跡でしたのでこの神社名になりました。貞観年間に神官が神事を受けて長木(てこを応用した搾油機)を発明し、えごま油の製造が始まったことから、日本における製油発祥の地とされています。その後、「大山崎油座」の下でえごま油の販売権を独占して江戸時代まで栄えました。大山崎町歴史資料館では油生産と町の繁栄の展示・説明があり、その中でも、大山崎神人(じにん)に不破関を無料で通行させるという足利將軍義満の御教書の存在は山崎油の黄金時代を彷彿とさせました。さらに、山崎の合戦の展示・説明の他に利休が造った茶室“待庵”の複製を間近に見ることが出来ました。その後、サントリー山崎蒸留所ではウイスキーの製造過程の説明を受けながら見学しました。試飲コーナーでは原酒とウイスキー“山崎”を対象に4種類の味わい方の説明を受け、午後4時半に解散しました。



《研究発表会》3月4日(日)、参加者17名で9時50分前から大阪産業大学梅田サテライトキャンパスで研究発表講演会が行われました。ニュースターでは研究発表を15件と案内しておりましたが、1名の方が体調を崩されて急遽発表を辞退されたので、14件の発表となりました。特別講演は、下間頼一顧問と佐々木堯会員の2名で行ってもらいました。中国河南省の古代遺跡というテーマで、下間顧問は「殷墟と文字博物館」を佐々木会員は後漢時代の墓「打虎亭漢墓」について講演されました。B.C.1300年の殷王朝の甲骨文字から見る象形文字と中国の青銅器の始まりを再認識させられ、後漢時代の墓の壁画の華麗さに驚かされました。研究発

表講演では、(久間英樹会員)は農業用水路掘削方法と鉱山坑道採掘方法の類似点について、(井上敏孝会員)は戦前期の朝鮮における船渠の一類型を仁川港の複門式閘船渠を例にして、(吉田勉会員)は兵器鉄鋼会社「日本製鋼所」の設立とその特徴について述べられました。(塩津宣子会員)はアーチ橋の起源はメソポタミアであることについて、(下間頼一会員)はローマの半円形アーチと中国の弓形アーチについて、(田中道彦会員)は近世の航海術と位置測定の科学技術発展史について述べられました。昼食、特別講演を挟んで、(真保光男会員)は電車駆動用直流電動機の技術進化について、(山岡章宏会員)は関西鉄道の第2報で庶務課長・富森篤について、第3報で加茂駅の跨線橋支柱について、(武長玄次郎会員)は昭和戦前期における台湾総督府技術者の福建省調査について述べられました。(渡部紘一会員)は古代メソポタミア文明遺跡のオルメカ文明について、(南正晴会員)はいなみ野台地のため池・用水開発を天満大池と加古大池を例にして、(本多将和会員)は高等専門学校における工作実習のあり方を松江高専を事例にして、(山館順会員)は芥川龍之介の「張之洞」観について述べられました。

《支部総会》2017年度の収支報告がなされ、了承されました。2018年度の関西支部の行事は今年度と同様に行うことで了解されました。

《交流会》総会后、ヒルトンホテル地下街の「たちばな」へ移動して、交流会が行われました。13名の参加でしたが、若い会員の参加が2名あり、さらに、下間頼一会員と白井一会員がそれぞれ含蓄のあるお話をされ、充実した会になりました。

見学会、研究発表講演会と2日にわたる関西支部の行事を無事開催することが出来ました。ここに皆様方に改めて感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。



【 会 員 動 向 】

2018年3月31日現在の会員数を以下に示します。

顧問	正会員	学生会員	維持会員
5名	120名	5名	2団体

【 訃 報 】

中辻 武先生(神戸高専名誉教授)が4月26日に急逝されました。中辻先生には関西支部の幹事をお引き受けいただき、本学会に多大なるご尽力をいただきました。ここに感謝申し上げますと共にご冥福をお祈り申し上げます。

【 講 演 会 の ご 案 内 】

産業革命を推進した原動力、蒸気機関と工作機械についての講演会を日本工業大学で開催いたします。皆様の聴講をお待ちしております。

題 目:産業革命推進の原動力ー蒸気機関と工作機械ー

講演者:茨城大学教育学部 技術教育教室

特任教授 堤 一郎 氏

日 時:平成30年6月8日(金)午後1時20分～3時00分

場 所:日本工業大学 学友会館ホール

住 所:埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4ー1

電 話:0480ー33ー7545(博物館直通)

交 通:東武スカイツリーライン「東武動物公園駅」下車西口から徒歩15分

聴講希望の方は5月25日迄に日本工業大学工業技術博物館へお申し込みください。(先着順)

主 催:日本工業大学工業技術博物館後援会、日本工業大学工業技術博物館

後 援:日本技術史教育学会

【 その他の学会動向 】

◇産業考古学会第42回(2018年)総会が開催されます。

開催日:2018年5月27日(日)総会・研究発表会,25日(金)プレツアー,26日(土)メインツアー・懇親会・評議員会

プレツアー:通常非公開エリア見学

メインツアー見学予定先:足尾歴史館発～通洞選鉱所(特別公開)～中才ガソリンカー軌道跡～中才旧鉱山住宅～通洞選鉱所シクナー～本山精錬所(特別

公開)～太陽光発電施設(本山精錬所旧硫酸工場跡・特別公開)～17:30 国民宿舎かじか荘着
案内:山崎古河機械金属足尾事業所長、小野崎敏・山田功・長井一雄

開催地:やしお生涯楽習館(埼玉県八潮市)

詳細は産業考古学会ホームページをご覧ください。

<http://sangyo-koukogaku.net/index.html>

◇日本科学史学会2018年度総会・第65回年會が開催されます。

開催日:2018年5月25日(金)

場所:東京理科大学葛飾キャンパス(東京都葛飾区)新宿 JR常磐線金町徒歩8分)

【 理 事 会 議 事 録 】

◆第150回(通算193回)理事会

日時:2018年2月3日(土),15:00～18:00,場所:東京大学本郷キャンパス工学部6号館4階407号室,出席者:渡部紘一・堤 一郎・鈴木夏夫・山館順・武長玄次郎・田中明美・桑原啓一

議題 0)前回議事録(案)審議、1)総務委員会:会員動向,会費納入状況,HP更新状況等、2)編集委員会:学会誌発行,NL発行等、3)企画委員会:2018年度総会準備等、4)関西支部2017年度総会研究発表会に関して、5)学会財政支援策検討、6)日本で開催予定の国際会議に関して、7)その他、8)次回理事会:2018年4月予定(国際会議関連)

◆臨時理事会

日時:2018年4月21日(土),17:30～20:00,場所:東京大学本郷キャンパス伊藤国際学術センター1Fレストランカリア,出席者:牛山 泉・渡部紘一・堤 一郎・武長玄次郎・田中明美・桑原啓一・山館順

議題 1)国際会議に関して

【 編 集 後 記 】

2018年度の総会研究発表講演会のご案内を掲載いたしました。発表件数件は12件の申し込みがございます。分野が多岐にわたっており、会の特色が出ている様に感じております。多くの会員の参加申し込みをお待ちしております。総会プログラム調整の都合で本号の発行が遅くなりましたこととお詫び申し上げます。

(穂積洋一)

日本技術史教育学会ニュースレター 第114号

2018年4月25日 印刷

2018年4月30日 発行



発行者
編集

技 術 史 教 育
Education for History of Technology

日本技術史教育学会 会長 牛山 泉
日本技術史教育学会
(株) プラス・ワン 気付 日本技術史教育学会 事務局
〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6F

TEL/FAX: 03-3835-2494

E-Mail: jseht@nifty.com